

普及現地情報



発信年月日：令和4年(2022年)12月6日

所属名：東近江農産普及課東部

番号：D22015

部門分類：699（その他普及）

発信者名：松嶋、辻村（農業推進係）

有事に備え、東近江地域特定家畜伝染病防疫演習を開催

10月27日に日野町大谷運動公園で、特定家畜伝染病の発生時に備えた防疫体制の強化、特に集合場所、テント基地の設営および防疫作業従事者の対応を確認することを目的に防疫演習を開催しました。出席者は東近江地域特定家畜伝染病対策会議構成員、家畜防疫員、家畜防疫連絡調整員、現地応援隊、管内市町、滋賀県建設業協会東近江支部、他地域対策会議構成員等の116名でした。

演習は日野町内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した内容としました。午前中は30分間で体育館での集合場所設営とそれに並行して集合場所係長から設営に関するポイントや注意点の説明、その後、20分間でグラウンドでのテント基地設営とそれに並行してテント基地係長から設営に関するポイントや注意点の説明を行いました。設営演習後、防疫処置で使用し、事故などの発生リスクの高い投光器と発電機の扱い方について、滋賀県建設業協会東近江支部から説明を受けました。

午後は体育館で地域保健班と集合場所係の運営にて、防疫作業従事者に扮した職員が健康診断、班分け、防護服着脱等を体験しました。その後、グラウンドで家畜防疫員とテント基地係の運営にて、防疫作業を模擬体験しました。

特定家畜伝染病に対する危機管理、防疫措置への意識の高揚を図ることができたとともに、改めて対策に備えた強化が求められる結果となりました。



投光器の説明



防疫作業を模擬体験